

オピニオン

京都の中心部のやや南へ下った所に、日本に唯一といわれている「京都市学校歴史博物館」がある。

明治2年、下京第十一番組小学校(後の開智小学校)として開校され、洛央小学校に統合となった跡地を利用して作られた学校歴史博物館である。ここに来ると、明治維新、東京への遷都という京都にとつての大変な危機に際して、京都の人たちが「まちづくりは人づくりから」という思いで、いかに人づくりに取り組んできたかがよく分かる。

文部省が設置される2年前に「番組」という地域の自治組織ごとに町衆の代表が集まり、64の番組小学校(日本初の学区制小学校)を創立し、自らの手で運営を行ったのである。

三条通を中心に北(上京)と南(下京)に分け、それぞれに32の番組小学校が僅か1年の間に作られている。十分な資金を確保するために、竈のある家は子供のいるなにかかわらず金を出し合う、貧乏で資金を出せない家庭には町内の裕福な家庭が支援する、不足分は京都市から借金をして10年程度で返済するなど、町をあげて最優先課題として市民全員が取り組んできたのである。

建学の精神の中には、江戸時代、京都で活躍した商人出身の伊藤仁斎の「古学」や、商家の番頭であった石田梅岩の「石門心学」を取り入れたものが見られる。梅岩の忠実な弟子、手島堵庵の作った心学講舎「明倫舎」は明治2年に「下京第三番組小学校」に生まれ変わり、後に「明倫小学校」とその名を変えている。(現在は高倉小学校に統合、跡地は京都芸術センターとして利用)

もちろん、こうした建学の精神は、はるか平安京の昔、空海が左京九条に創建した「綜芸種智院」に遡ることができるが、京都の学問と教育の伝統がそれ以降も脈々と受け継がれてきたからであろう。

閉校になった小学校から寄贈された多くの書画や陶磁器も陳列されて

歴史に学ぶ教育問題



日本漢字能力検定協会理事長 高坂節三

〈こうさか・せつぞう〉経済同友会幹事、東京都教育委員など歴任。平成23年春から漢検理事長。兄は政治学者の故高坂正堯(まさたか)氏。

いるが、その中には梅岩の肖像画や講座風景図も見られる。さらに面白いのは堵庵が作ったといわれる「いろはかるた」の「ねむりさまし」も残っている。石門心学の教えを子供が口ずさみやすい歌にして絵を添えたもので、その絵も堵庵の作といわれ、明倫小学校の校舎新築の際、校内でこの歌を歌い、この歌に基づいて道話が行われたといわれている。

明倫小学校では、地元と学校が、子供の現況・実情を話し合って教育目標を設定し、特別活動も時間割のなかに位置づけて実践、それを「本校教育要覧」(昭和7年)としてまとめている。橋下徹大阪市長の教育改革をきっかけに教員の評価問題で大騒ぎしている現状に鑑み、あえて「教育要覧」の中にある「職員自戒五則」を紹介しておきたい。

- 「あらゆる教育問題の解決は『人』に帰す。…職員の内奮自励を望むや切なり。」
1. 和衷協同を旨とし相寄り相助け、て所定の方針に一致精進すること。
 2. 断えず研究修養に努め、互いに切磋琢磨を怠らず、以て世の進運に後れざる様心掛くること。
 3. 温き愛と燃ゆるが如き熱を以て児童を愛護し、公平正明なる態度を以て児童に接すること。
 4. 日々の教授に対し周到なる準備をなし、自信を持って教壇に立つこと。
 5. 常に摂生に留意して健康の保持に努め、健全なる心身を以て職務に精励すること。

■ 解答乱麻 ■